



高垣ひろのり 市政通信 vol. 4



東広島市長
高垣広徳

略歴

大阪大学工学部卒
中央大学法学部卒
広島県職員 - 東広島地域事務所建設局次長
- 土木整備部長
- 土木局長等を務める
(株)サタケ エンジニアリング本部部长
広島県副知事

高垣ひろのり後援会

〒739-0041 東広島市西条町寺家6343-3-704
携帯電話: 080-8450-8293 FAX: 082-426-5241
e-mail: hironori.takagaki2020@outlook.jp

高垣ひろのり後援会事務所 (毎週水曜日開所)
〒739-0043 東広島市西条西本町1332

2期目挑戦への思い

先の東広島市議会定例会(令和3年第3回)において、『2期目挑戦の思いについて』質問を受けました。

私は、市政運営を担う最高責任者として、これまで培った基盤の上に新たな芽を育み、しっかりと開花結実へつないでいく必要があるとの考えのもと、引き続き市民の負託がいただけるのであれば、市民の誰もが実感できるような「やさしい未来都市東広島」の実現に全力を尽くしてまいりたいとお答えしました。

今号では改めて私の目指す将来の姿について皆さんにお伝えしたいと思います。

目指す都市像と 政治姿勢

私は政治を志すものとして、吉田松陰の「夢なき者に成功なし」という言葉を座右におきながら市政に取り組んでいます。夢(ビジョン)をもち、それを理想として掲げながら、計画に落とし込み、それを着実に実行して、初めて市勢の発展があるとの信念からです。

目指す都市像

・ビジョン

やさしい未来都市

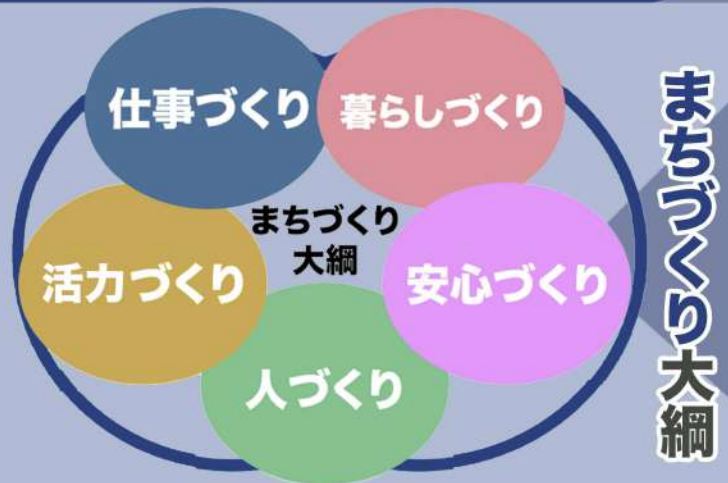
～テクノロジーと自然が融合し、多様な選択が可能な都市をめざして～

【2030年で目指すまちの姿】

- ・地域イノベーションの積極的な展開
- ・希望ある未来へ挑戦する新たなプロジェクトの展開
- ・次の時代を見据えた地域共生社会の実現
- ・豊かな自然環境の保全と活用
- ・国際色豊かなまちの形成

・第5次東広島市総合計画

- 「未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市」
- ～住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島～
- ・世界に貢献するイノベーション創造のまち
- ・暮らし輝き笑顔あふれる生価値創造のまち



まちづくり大綱

市政運営の基本的考え方

・計画無くして市勢の発展なし

- ・第5次東広島市総合計画と各個別計画を体系的に構築
- ・市を構成する9町の個別の地域別実行計画の策定

・市民の皆様との対話の重視

- ・市長定例記者会見
- ・わがまちNO1ふるさと夢トーク
- ・市長と語るおしゃべりカフェ

・市役所組織内での理念の共有

- ・理想とするまちのビジョンの共有と組織のあるべき姿と、それを実行するための基本的価値観を示した「東広島市職員の行動理念」の策定
- ・朝礼での唱和とモチベーション向上に向けベストプラクティス賞を設けて日々実践



一期目の実績

～ これまでの取り組みを振り返る ～

市長就任以来、平成30年7月豪雨災害や新型コロナウイルス感染症への対応など、危機管理が大きなテーマの一つとなりました。刻々と変化する、これまで経験したことのない事態に対し、柔軟で機動的な体制を敷き、国や県などの関係団体との連携を図りつつ、困難な状況の中で常にその局面に応じて、市民起点の打ち手を講じるべく最善を尽くしました。

今振り返れば、このような大変厳しい環境ではありましたが、私に届く市民からの期待の声や関係者の力強い支援に支えられて、まちづくりの礎を展開できたと感じています。その一端をまちづくり大綱の5つの柱に沿って振り返ります。

まちづくり大綱

仕事づくり

SHIGOTO

産業イノベーションと中小企業の活力強化

- ・東広島イノベーションラボ「ミライノ+」、東広島ビジネスサポートセンター「Hi-Biz」の開設

企業投資の促進

- ・半導体外資系企業の本社の東広島移転
- ・直近3か年で40haを超える設備投資と約1600人雇用創出

農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化

- ・集落法人の設立支援や経営改善、新規就農者の育成
- ・スマート農業の推進
- ・ブランド地鶏の開発支援とブランド地鶏生産組合の設立

地域資源や特徴を活かした観光振興

- ・一般社団法人ディスカバー東広島設立
- ・コロナと共生時代のマイクロツーリズムの推進



暮らしづくり

KURASHI

暮らしを支える拠点地区の充実

- ・八本松土地区画整理事業、西条第二地区の街路事業・下水道事業推進・酒蔵地区伝統的建造物群保存条例の制定
- ・中央生涯学習センター跡地およびその周辺のあるべき姿検討と具体化に向けたプラン策定

地域資源を活かしたまちづくりの推進

- ・9町のまちづくりビジョンを具体化した地域別計画の策定

快適な生活環境の形成

- ・ゼロエミッションの実現を目指す広島中央エコパークの稼働

安全で円滑な生活交通の充実

- ・地域特性の沿った公共交通政策の推進（デマンド交通等）
- ・交通結節点整備（広島大学、中黒瀬）



人づくり

OKU

乳幼児期における教育・保育の充実

- ・子供の5つの力を育む保育の推進
- ・保育施設の魅力ある環境づくり

教育環境の充実

- ・GIGAスクールの推進のため一人1台タブレットの配布
- ・普通教室への空調機整備の完了
- ・小中学校のトイレの水洗化の推進

芸術文化活動の活性化

- ・新東広島美術館を開館
- ・広島交響楽団のホームシティ
- ・新文化財センターの整備

市全体が学びのキャンパスとなる環境づくり

- ・図書館ICシステムの導入による利便性向上



活力づくり

KATSURYOKU

学術研究機能の発揮による都市活力の創出

- ・地域社会の課題解決や魅力的なまちづくりを行う広島大学との「タウン（街）& ガウン（大学や学生・教員等）」がスタート
- ・理化学研究所広島大学共同研究拠点開所
- ・アリソナ州立大学（ASU）のグローバル校の設置決定

都市成長基盤の強化・充実

- ・（仮称）八本松スマートインターチェンジの新規事業化
- ・道の駅西条のん太の酒蔵の整備
- ・JR西高屋駅基本デザイン決定

環境に配慮した社会システムの構築

- ・東広島スマートエネルギー株式会社の設立によるエネルギーの地産地消化の推進
- ・広島大学循環バスによるMaasの社会実験の推進
- ・CO2排出削減に向けた脱炭素化の推進



安心づくり

ANZEN

災害に強い地域づくり

- ・流域治水推進のための川上地区の調整池の検討に着手
- ・平成30年7月豪雨災害を踏まえた地域防災計画やハザードマップを改訂し地域防災力の強化

安全・安心な市民生活の実現

- ・高機能消防指令センター運用開始
- ・（仮称）東広島消防署高層分署の建設着手

総合的な医療体制の確立

- ・救急医療体制の整備
- ・休日診療所の平日夜間診療の開始

誰もが生き生きと暮らせる地域共生社会の実現

- ・東広島市手話言語条例・コミュニケーション条例の制定
- ・東広島地域共生条例（障害者の意思疎通手段の確保等に関する条例）の制定
- ・HOTけんステーションの開設

健康寿命の延伸による生涯現役社会の実現

- ・元気生き生きポイント制度の開始
- ・東広島市地域包括支援センターの機能強化

安心して子どもを産み育てられる環境づくり

- ・東広島版ネウボラ「地域すくすくサポート」を10日常圏域に開設
- ・待機児童の解消
- ・乳幼児医療の支給対象の拡大



多発する大規模災害や新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行（パンデミック）など、未曾有の事態に見舞われ、大きな環境の変化に翻弄されるなかで、これからのまちづくりをどのように考えていくのかが問われています。

地球規模の複雑で急激な変化が、私たちの生活や社会経済活動に直接大きな影響をもたらす時代において、人類共通の価値観に基づくまちづくりが必要となってきました。

私はこの価値観を2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）に置きたいと考えています。この基準を支える「誰一人取り残さない（leave no one behind）」という考え方は、ともに支えあう共生社会を目指そうとする私にとって大きな目標です。

このSDGsが実現する社会を創っていくためには、AI（人工知能）や高度な情報通信技術などのデジタル技術を活用し、DX（Digital Transformation）によって社会構造を変革していくことが重要であり、4つの大学や多くの試験研究機関が集積する東広島市はそれらを実現する先導的な都市となる潜在力があります。

このような時代の変化、潮流を意識しつつ作り上げた計画が「第5次東広島市総合計画」であり、SDGs未来都市として政府から認定を受けたことやスマートシティ構想の推進もこの計画が基礎となっています。「やさしい未来都市、次なるステージへの加速」と位置付けた過去最大規模の今年度（平成3年度）予算はこのような理由によっています。

近年、社会構造の不可逆的な変化への対応の遅れなど、我が国全体を覆う問題として多くの指摘がなされるなか、DXの前提となる様々な分野でのデジタル化の遅れや地球温暖化に対する温室効果ガスの排出抑制、再生可能エネルギーへの転換なども大きな課題となっています。

また、本市固有の課題も顕在化してきております。「選ばれる都市」として様々な取り組みを推進することにより、市全体の人口は増加する一方で、西条町と八本松町を除く地域では人口が減少し、特に中山間地域では過疎化が進んでいます。魅力的な仕事づくりや地域に活力をもたらす施策、公共交通の維持など中山間地域の振興が必要との認識は十分に共有されており、今後地域別計画の中で具体的な形をお示していきます。

本市は大学や試験研究機関が立地するとともに、先端技術産業が集積しており、新たな価値観や考え方、先行モデルの創出につながるイノベーションを生み出す下地を備えています。さらには、豊かな自然環境を有し、市民が自然の恵みを楽しみながら快適に生活できる環境も整っています。

これらのことを前提に、SDGsとDXを基盤として、市民の幸福度（Well-being）の向上を目指した施策を効果的に展開し、「やさしい未来都市東広島」を市民の誰もが実感できるように今後も全力を尽くしてまいります。

注：DX = Digital Transformation デジタルによる変容、デジタル技術を用いることで生活やビジネスが変容していくこと

Facebook から活動報告!



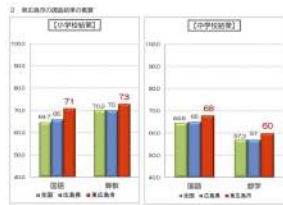
Hironori Takagaki

2021年8月31日

【子供の学びは東広島で】

令和3年度学力調査結果の報告（速報）がありました。「人づくり」を施策の柱として教育に力を入れている本市としてうれしい結果となりました。

対象は小学校第6学年と中学校第3学年で、いずれも全国平均、広島県平均を上回り、県内14ある市の中でトップとなっています。… See More



東広島市長
公務日記
(行事、イベント等)



高垣ひろのり
を応援する会
(議会報告等)



高垣広徳
個人アカウント
(市政に関する話題)



高垣ひろのり
公式ウェブサイト
(プロフィール・政策・実績等)